

紅葉も盛りを迎え、いよいよ晩秋から冬の訪れへと向かう季節となってきました。  
寒くなっていく時期ではありますが、これからもますますアウトドアでの活動をパワーアップして、みなさまのご参加お待ちしております。

## イベント案内

### '99忘年会

～朝までスペシャル? '99年の締めくくり!～

さて、PAOの忘年会も今回で4回目を迎えることになりました。

PAOの活動の中では、数少ない飲み会イベントであり、毎年終電を乗り過ごすほど盛り上がります。そこで、今回は終電を気にせず飲むためにも、希望者は宿泊することもOKです。

日時：12月18日(土) 午後6時30分スタート!

場所：舞洲野外活動センター [ロッジ舞洲] (大阪市此花区北港)

Tel (06) 6460-6688

集合場所：JR千里丘駅 午後4時

現地集合(午後6時)もOK。直接来られる方は、その旨お知らせください。

参加費：¥5,500- (宴会のみ)

¥12,000- (宿泊・朝食込)

申込み：参加希望者は11月23日までにご連絡ください。

その他：宴会は野外活動センター [ロッジ舞洲] 内のレストランにて行います。

宴会のみご参加の方は、現地解散になります。2次会参加者は各自、酒・つまみ等ご持参ください。宿泊は、ロッジ舞洲にて。大浴場にて入浴OK。

アクセス：JR環状線 西九条より市バス特81舞洲スポーツアイランド行きで約25分。

JR桜島線 桜島駅より市バス臨81舞洲スポーツアイランド行きで約10分。

### 晩秋の登山&キャンプ

～今年最終の登山企画となるか? 木曾の御岳山を目指します!!～

日時：11月19日(金)夜～21日(日)

目的地：御岳山(長野県～岐阜県/3067m) 経験者向き

集合時刻：11月19日(金) 午後11時

集合場所：JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]

(改札を出て左前方の階段を下りたところ。喫茶店CITYの前。)

装備：登山靴、ザック(40L以上)

持ち物：シュラフ(冬用)、防寒具、雨具、食器、手袋、軽アイゼン

参加費：¥13,000-

申込み：参加希望者は11月17日までにご連絡ください。  
コース：田の原～大滝頂上～剣ガ峰（往復）歩行時間約6時間 [標高差 1030m]  
その他：田の原付近にてテント泊予定。登山においては、相当の寒さが予想されます。  
防寒対策はしっかりとお願いします。

### 2000年新春企画・樹氷ハイキング

冬の山も、樹氷ハイキングで楽しんでみましょう！日本のマッターホルン高見山へ！  
新年1月29日を予定しております。

### またまた緊急企画！宴会&キャンプ！

～今年最後の、締めくくりのキャンプとなるか？～

だいぶ寒くなってくるころですが、のんびりハイキングにゆったりキャンプ、みんなで、鍋を囲み、酒を飲むのもまたいいものです。

日時：12月4日（土）～5日（日） 午前8時30分集合

5日は、昼頃には解散予定。

目的地：大阪府・能勢（大阪府立総合青少年野外活動センター）  
ハイキングは剣尾山へ！

集合場所：JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]

持ち物：弁当、水筒、シュラフ、防寒具、雨具、食器、手袋、酒・つまみ等

参加費：¥8,000-

参加希望者は、11月25日までにご連絡ください。

## イベント報告

(NO. 40)

### 長良川カヌー&キャンプツアー

岐阜県・長良川 10月1日（金）～3日（日）

夜中に大阪を発ち、岐阜県長良川、美濃町には深夜の3時頃の到着となりました。

少々睡眠不足ではありますが、爽やかな朝を迎えました。

久々に登場のカトリーヌ号と三島さんのファルトカヤックで、まずは1日目の川下りを開始。カトリーヌ号には、あの四万十川でも川の流りに身をまかせた、足立さんが乗りこみ出発…結果報告が楽しみです！？

川下りをしている間に、私は昼食の材料を買いこみ、車を回送です。

約3時間後、川下り組と落ち合うと、「またもや！！」と言うか、カトリーヌ号に乗りこんでいた2人（もちろん足立さんも）は、全身が濡れてまだ乾いてないようです。

足立さんに聞いてみると、「今回もまた水没しました…しかし、今回は沈しても落ち着いており、流されながらもカヌーは放すまいと必死でした！！」とのこと。これも、四万十川での学習効果か？「でも、水はこっちの長良川の方が、四万十川よりおいしかったですよ！」と少し余裕含みであります。

今日のテント場、川下りを始めたところまで戻り、テント設営後温泉へと向かいます。目指すは板取川温泉。車で1時間近く走りましたが、なかなかいい温泉でありました。

今夜の夕食は定番のすき焼きです。腹もいっぱいとなり、宴会も盛り上がってきた頃、「ポツ…ポツ…」と、降ってきました。今日はもつかな？と思っておりましたが…やはり今回も…。雨の中、タープを立てて、再び宴会の続きです。

しかし、その宴会もそう長く続ける事はできませんでした。しだいに、強まる雨に風！タープはその風を支えきれずに、次々とポールが吹っ飛んでいきます。まさに、強風の中、タープを立てることは無理なので、頭を支柱にテーブルの四隅に座ってタープをかぶり、しばらく雨風が止むのを待とうとしておりましたところ…「ピカッ！！…ゴロゴロゴロゴロ…！！」…なんだか、あまりいい雰囲気ではなくなってきました。

風はさらに強く、稲光そして雷鳴はしだいに近くで感じるようになり、周りのキャンパーも早々に非難を始めました。

我々も、これ以上タープを押さえつづけることは無理とあきらめて、しばらく車へ非難しよう、としたところ…「ピカアッ！！」と光るやいなや、

「ノミコーン！！」と恐ろしいまでに近くでカミナリが落ちたのを感じたのです。

さすがに、こんなときのみんなの行動はすばやい！あたりが真昼のように明るくなった瞬間、手に持ったポールを投げ出し、伏せていたのです。

朝には雨、風ともおさまり、なんとか平穏が訪れておりましたが、天気のはうは、どんよりと曇ったまま。

昼過ぎには、大阪へと帰路についたのです。

【栗原隆一 記】

(NO. 41)

## 秋山登山・北アルプス

長野県・燕岳～常念岳／北アルプス 10月8日(金)～11日(月)

10月8日(金)

23:30 総勢7名で、千里丘を出発。名神～中央～長野道と高速をすっ飛ばす。

10月9日(土) 晴れ

5:30 なんとか予定どおり長野県は豊科のタクシー会社に到着。ここで、タクシーに乗り換え燕岳の登山口、中房温泉を目指す。

すっかり明るくなった頃、登山口に到着。標高約1500m。かなり寒い。

7:15 登山届をポストに放り込み歩き始める。さすがに、北アルプス三大急登の一つ、合戦尾根か！休憩をいれつつゆっくりと進む。

8:05 第1ベンチ、1660m。ザックが肩に食い込む！

9:48 富士見ベンチ、2200m。しばし休憩。

10:41 合戦小屋到着。ようやく展望が開けた。燕山荘も目に入る。天気も良く、雲が下に見える。休憩の回数が増えてきた。

12:34 燕山荘到着。眺めは最高！！燕岳、槍ヶ岳もきれに見える。とりあえずは昼食。本日のメニューはスパゲティ。ここに、ザックを置いて燕岳を往復。燕岳ピーク、2763m。あまりの景色の良さに、ゆっくりしすぎたか？大天井岳までの予定を変更。燕山荘にてテント泊。

日が傾き出すと、たちまち冷え込んでくる。予想していたとは言え、日が沈めばさらに急激に温度が下がり、「ガクン、ガクン」と、一気に温度が下がって行くのが感じられるほどだ。日本酒やホットウィスキーがなくなれば、もうどうしよう

もなくなった。シュラフにもぐり込む。就寝 20 時。

10月10日(日)快晴

5:45 山頂から見る日の出は素晴らしいものである。一筋の光がたちまちひろがり、地球全体を包み込むように明るい世界をつくりだす。

8:20 燕山荘出発。ここからは表銀座と言われる縦走路コースとなる。快晴のなか、右手前方に槍ヶ岳を中心に穂高連峰を見ながらの尾根歩きは、気分もいい。

11:40 大天井岳ピーク、2922m。それにしてもスゴイ景色の連続に、素晴らしい天気！

12:05 大天荘着。ここで昼食。今日のメニューはラーメン。水は小屋で 1L=200 円。

13:15 大天荘出発。常念岳を目指します！

15:43 常念小屋到着。今日はここまで。日没まであと 1 時間となったところで、有志だけで、常念岳を目指しました！

今夜の夕食は常念小屋での食事です。久々に(?) 腹いっぱい食べました。そして、今夜はウイスキーも買い込み、テントサイトで宴会へ！しかし、あまりに騒ぎすぎたか？今回も怒鳴られてしまいました…

10月11日(月)晴れ

4:45 山頂からご来光を目指して、常念岳を登り始めます。

5:38 常念岳ピーク、2857m。待つこと、数分。きました！今日も素晴らしい日の出です。富士山、槍ヶ岳と眺めも最高！今日もいい天気になりそうです。

9:10 常念岳、そして北アルプスの眺めを背に常念乗越より一ノ沢へ下山。

11:50 一ノ沢、常念岳登山口着。全員無事下山。みなさまおつかれさまでした。

あとは、温泉に入って、そばを食って、一路大阪へ…とこれでは終わりませんでした。天気のいい、3連休の後に待っていたのは、大渋滞。結局大阪に着いたのが、23 時頃。家へたどり着いたのは、日が変わっていた方も…みなさま、本当におつかれさまでした。しかし、いい山行であったと思います。ぜひ、また行きましょう。

【栗原隆一 記】

(NO. 42)

## 秋山登山Ⅱ・大普賢岳

奈良県・大普賢岳／大峰山系 10月29日(金)～30日(土)

夜中とは言え、大阪から 2 時間と少しで、奈良県は大峰山系・大普賢岳への登山口となる、和佐又口に到着。早速にも、鹿の出迎えを受ける。「山に来たぞ！」との実感も沸いてきた。朝まで、仮眠となる。

登山道を歩き始めると、あざやかに彩られた大普賢岳が目の前に飛び出す。残念ながら直ぐに樹林帯へと入る。約 2 時間で大普賢岳のピーク、1779m に到着。色づいた山上ガ岳、稲村ヶ岳の山々がきれいに見渡せる。ここからは、国見岳、七曜岳をまわって登山口へと帰るコースをたどる。風が強くなってきた、さぶい！

昼食は味噌煮込みうどん、けっこうあったまる。

アップダウンが続く上に、ルートが長い！おまけに岩場、クサリ場の連続。ナメてはかかれない、厳しい山であります。

ようやく登山口へとたどり着いたのは 16 時 20 分。全行程 8 時間と少しのなかなか手強い山行でありました。みなさま、おつかれさまでした。

【栗原隆一 記】

## Tent Site

《NO. 41 秋山登山・北アルプスでの感想文を紹介します。》

[11 - 106 た一]

秋山登山は初めてで、とても楽しみでした♡ 夏に1度登った事のある燕岳はやっぱり、ステキで好きな山です。昼夜の温度差には厳しいものがありました。何とか頑張って良かったです。朝日を見るために山に登っていると言ってもいい程、山頂から見る朝日が、とってもとっても好きで、なかでも、常念岳からの朝日は最高でした。1時間かけて、日の出と競走して、登りあげたから、なおさら、素敵にみえたのでしょね♪

来年も北アルプス楽しみにしています。女性の方の参加も増えるとうれしいです♡

最後になったのですが、男性の方が重たい荷物いっぱい持って下さって、本当にありがとうございます。最後まで、皆と一緒に下山出来た事、うれしく思い感謝しています。また、みんなで登りましょうね！

[11 - 147 森川 浩]

登山経験皆無で有り一度愛宕山に参加しただけの私ですがなにか新しいものにチャレンジしたいと、久々に冒険のようなものがしたいと思って勢いだけで北アルプスツアーに参加しました。

寒いと聞いていましたので寒がりの私は適当に防寒具を詰めていますと90Lのザックに約16Kgと言う重装備になってしまいました。この荷物を背負い、しかも履き馴らしていない新品の靴で歩き通せるか不安な気持ちを持ちながらの参加でした。当初の中房温泉から燕山までの登りはかなりキツク、慣れないザックが肩に食い込み水を飲む度に少し荷物が軽くなったと思いながらダウン寸前でついていきました。そしてやっと燕山荘についた時、そこから見る景色はガスや雲といったものがほとんど無かったので絶景そのもので名前は良く知りませんが南アルプスの山々、遠くには富士山まで見渡すことができました。その日のテント泊ですが昼間日陰部分に少し霜が残っていたので寒くなる予想はしていたのですが、やはり寒かったです。零度前後の気温だったと思います。早朝の御来光も晴天の中雲の中から少しずつ上がって行く太陽をバッチリ見ることができました。

この日の大天井～常念へ向かう縦走はずっと雲の上を歩いているようで初日の疲れもどこかに飛んでいってしまうほどでした。二日目のテント泊は先日より温かったのですが、皆様よく歩かれていましたのでテント中はとっても足の臭いで充満？していました。(すぐに慣れたけど)そして最終日ここまで無事にこれたのだから最後の下山で怪我をしないようにと細心の注意をしつつ無事下山することができました。そしてやっと温泉…日焼けのためお湯で顔が洗えず、腕もつけられずバンザイをしながらの入浴でしたが、とっても気持ち良かったです!!!

ここまで天気にも恵まれ順調に来ていましたが、最後に三連休ならではの落とし穴がありました。それは大渋滞！なんとか電車で帰れた方もいましたが私は他のメンバーの方に送っていただきました。(その節はありがとうございました)最後に、これは私の個人的な考えですがやはり登山は自己責任がより強く要求される場であると思います。と言うのも例えば普段の旅行とかで有れば少々忘れ物をしてもお金でたいていかたがつかますし、怪我をしてもすぐに救急車が来てくれます。しかし山ではこうはいかないと思います。自分のことは自分で何とかするしか無いのです。しかしその分いくらお金を積んでも見ることが出来ない景色と他ではあじあう事のできない達成感が有ると思います。

栗原さんを始め皆様今回はありがとうございました。

《NO. 42 秋山登山・大普賢岳での感想文を紹介します。》

[11 - 098 吉田 晴美]

紅葉がすごくきれいで、景色もとてもよかったです。けっこう歩いたけど、つかれた。足元はフカフカで、きれいだったけどすべりそうになる。木の根っ子ばかりの道だった。いわをよじのぼったりもしたけど、歩きやすい道だったかもしれない。くだりでヒザがガクガクとしたけど、はげしく全身をつかっただけのぼったと思う。

[11 - 145 ねもちゃん]

“経験者向き”ということで、大丈夫かな？ときくと、「大丈夫、だめだったら、おいていくし…」と言われての参加でした。ハードなのぼりとくだりのくり返しで、なかなか辛かったけど、とっても楽しかったです。昼のみそ煮こみうどん、おいしかったですよ♡

[11 - 147 森川 浩]

途中の山道で暗闇の中にごめく野生の鹿たちにビックリさせられながらも午前二時頃？現地に到着しました。大台ヶ原の近くの奈良の山奥なので空には満点の星を期待していたのですが、残念ながら雲が出ていてあまり星は見えませんでした。

まあ奈良ぐらいの山やったら以前登った愛宕山にけが生えた程度やろうと思っていましたがその考えは非常に甘かったことを午後から思い知りました。登りは案外と楽だったのですが、下りは緩やかですが下がったと思ったらまた少し登ったりして、沢はまだか！と思いつつもくもくとくだりました。また途中クサリ場も案外と多く気分はファイト！！一発のCMの気分を下りました。私が先頭を歩いていたのですが道を途中で間違えかけて「底なし井戸」という今は埋めてあるそうですが井戸が有る方向に行きかけて1人で「貞子の呪い」だ～言いながらすすんでいました。しかし天気も好天で秋の紅葉を見ながらの登山は心身ともにリフレッシュされ気持ちが良かったです！！私は今回でPAOのイベントは3回目の参加ですが一度も雨に降られたことは有りません。会長の栗原さんは雨をもたらす究極の「ダークフォース」の持ち主で？会員の皆様も雨男・雨女が比較的多い？という噂ですが私は負けません！また参加して、天気記録をのぼしたいと思います。

~~~~~  
感想文、またアンケートにご回答いただきましたみなさま、ありがとうございました。

**PAOホームページ公開中！！**

アドレスは、<http://odcpao.com>

PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また企画や体験談などお寄せください。お待ちしております。

パソコン・携帯端末等Eメールを受けることができる方は、アドレスをお知らせください。緊急企画等お早めにお知らせすることができます。

**アウトドアサークルPAO 栗原隆一**

**Eメールでも受付中！アドレスは：[info@odcpao.com](mailto:info@odcpao.com)**

99.11.15